



小林佳子税理士事務所  
所長税理士 小林 佳子 様

・福岡県福岡市  
・2019年3月 当協議会入会  
・2021年6月 推進協議会アカデミー補助金・公的制度コース  
事業再構築補助金編に入学

### ■ 案件は金融機関からの紹介

#### Q 案件の発掘はどのようにされていますか？

案件は金融機関の紹介で獲得しています。当事務所では事業再構築補助金の相談は15件ほどありました。内訳としては1次公募1件、2次公募は10件以上ありました。その殆どが金融機関からのご紹介案件です。

### ■ 銀行紹介のための布石

#### Q なぜ金融機関から紹介がもらえるのですか？

補助金の紹介をもらうために、これまでの当事務所の支援実績を1年間ずっとアピールしていました。

令和2年12月に事業再構築補助金がいよいよ開始するというタイミングに、金融機関は金融庁から支援するように言われていたこともあり、沢山ご紹介をいただけたという経緯があります。

更に、補助金だけでなく、「財務・資金繰り支援」に関しても、当事務所で対応ができることをアピールするために、協議会の「F+plus」で作成した「企業財務診断報告書」などのツールをアピール資料として金融機関へ持って行くということもしていました。

### ■ カッコいい言葉でなくていい

#### Q どのように補助金をサポートされましたか？

今回の2次公募に関しては協議会サービスの動画や専用エクセルなどを利用しました。

動画を見てもらい「カッコいい言葉」でなく自分の思ったまを文章で綴ってくださいと伝えて、企業側に書いてもらっていました。

### ■ 心がけていたのはヒアリングの仕方

#### Q 申請書作成で工夫されていたことはありますか？

心がけていたことは面談時に審査項目から逆算してヒアリングをすることです。

何も無い中で事業者が答えようと思っても、中々答えづらいと思います。

そこで審査項目からポイントを絞って、具体的に聞くことで、事業者も「なるほど！」という反応になり、うまくヒアリングできストーリーが作れました。

### ■ 感嘆の声が嬉しい

#### Q お客様の反応はいかがでしたか？

1次公募も2次公募も全てZOOM(web)で面談しながら、「社長が何気なく話していた些細なこともメモし、それをもとに文章にする」というやり方で進めていました。

最終の申請書を社長にお見せした時に、高い評価をいただき、感嘆のお声が聞かれたのは嬉しかったです。

あと「金融機関からもお墨付きをいただいたよ」と社長から聞いた際は、更に嬉しかったです。

### ■ ツールはすべて使っています

#### Q ご活用された当協議会のサービス・コンテンツとその感想をお聞かせください。

ツールに関してはほぼ全てのツールを使っています。販促チラシやフローチャート、事業計画のテンプレートや事業計画のワードサンプル。あとは、経費明細書のサンプルなども使いました。

動画も視聴しました。動画は10分程度の短いもので、項目毎の内容になっておりすごく見やすかったです。隙間時間を利用して確認したり、あとから振り返りとして視聴したりしました。

### ■ アカデミー入学が凄く勉強になった

#### Q アカデミー全体のご感想をお聞かせください。

課題の模範解答も今後参考になる点が多く、勉強になりました。

特に補助金は情報の更新が重要なので、日々LINEやメール等で何回もお知らせしてくださるのは、とても助かっています。

補助金支援は、案件ごとに様々なケースがあります。その都度、協議会の個別相談窓口質問をしましたが、いつも丁寧に回答していただけるので、大変心強く感じています。